

大津町立大津小学校 研究だより



第4号
平成27年12月8日
大津小学校研究部
文責 林田祐二

平成27年11月19日(木)に「平成26・27年度大津町教育員会指定「学力の充実・向上」研究推進校」「平成26～29年度文部科学省指定研究開発学校」中間発表会を実施しました。

大津町内外から約200人の方が授業を参観されました。「生活数理」という新しい教科の学習を見ていただきました。児童の生き生きと活動する様子が参観者に好評でした。

1年 たりますか、たりませんか



生活科で作るどんぐりのおもちゃで、材料のどんぐりが10個で足りるか足りなさを考えました。

2年 来て来て！おもちゃまつり



1年生を楽しませるために、生活科で作ったおもちゃを使ったゲームの得点の付け方を表やグラフを使って考えました。

3年 おいしいよ！大津のからいも



収穫したからいもをプレゼントするために、秤や計算を活用して、ちょうど1kgの重さになる組み合わせを考えました。

4年 未来につなごう 大津の水



学校生活の様々な節水方法を考え、実験した数値を比べながら取り組みやすさを大事にして、全校に呼びかける方法を決めました。

5年 大津小版ごみ問題解決プロジェクト



訴えたいごみ問題が最もよく伝わるグラフをどのように作るか、考えたものを比較し合って工夫を考えました。

6年 卒業サプライズ大作戦



卒業の際、感謝を伝えるための費用が目標に届くか10月までの数値で考え、11月の資源回収の計画を修正しました。

ひまわり スマイルパーティーをしよう



おいしい梅ジュースを作るために、様々な容器を使って水の量り方を工夫し、何度も試して自分だけの方法を決めました。

こすもす2 スマイルパーティーをしよう



様々な品物を組み合わせて計算をしながら、おこづかい300円で上手に買い物ができるように考えました。

自分の生活に直接関係する「生活数理」らしく、子どもたちは自分のこととして、一生懸命学習に取り組むことができていました。たくさんの参観者の中でも、目を輝かせて堂々と自分の考えを述べたり、集中して考えたりする姿が素晴らしかったです。

参観者の感想の中には、「子どもの姿がすべてだと思う。素晴らしいの一言」「大津小の子どもたちが、しっかり伸びていると感じた」「児童の実生活にあった内容だったので、全ての児童がやる気を持って取り組んでいるのがすごいと思った」「1時間の授業で、みんなが納得してまとめるのは難しいと思ったが、児童1人1人のやる気があふれていたのも、とても素敵な授業だった」等の感想をいただきました。

文部科学省教科調査官笠井先生による『未来を拓く「生活数理」の可能性』という講演では、これから生きていく子どもたちに必要な学習であるとの話がありました。

今、学校では、ドングリを使ったおもちゃづくり(1年)や1年生を招待してのおもちゃ祭り(2年)など学習の終末を迎えています。おうちでも話題にしていだければ幸いです。また、今後の「生活数理」の授業も随時ご紹介していきます。